

明けましておめでとうございます。

先日、しばらくぶりに床屋さんに行った時のことです。

この歳でもう上のほうはかなり薄くなっています。そこで散髪が終わると掛け合ってみたんですね。

「マスター、ご覧のように私の頭は他の人の髪の中の半分ですよ。はげている部分は手をかけなくてもよいし。だから料金も少しは割引いてくれませんかねえ」。と、そこの主人、なんていったと思いますか？

「旦那さん、そんな無理をおっしゃらないでくださいよ。確かに旦那さんの髪は少ない。ですから、私としては一本たりとも抜いたり傷めたりしてはいけないと思って、大変に気を遣ってハサミを動かしているわけです。逆にこちらの方が増料金をいただきたいくらいですよ。 敵もさるもの、上手をいくもんですねえ。

ところで料金は安くならないけれど、「はげあたま」も決して捨てたもんじゃない。「定年後を輝いて生きる」ためには、この「はげあたま」つまり「はつらつ」と「元気に」「明るく」「楽しく」そして「まあるく」生きていくことが大事だと思う次第。自分が明るく輝いていけば周囲も明るくなっていくでしょう。

そんなわけで今年は「はげあたま」でいこう、なんて・・・。

ご同輩も誇りをもちますます輝いていきましょう。まもなく

66歳を迎える「東京のドン・キホーテ」の新年の
独り言でした。

2007年 元旦

ホームページ：<http://homepage2.nifty.com/donky/>

Eメール：donky17@nifty.com

